



阪神高速道路株式会社

2008年3月期 中間決算

2007年12月21日



目次

1. 経営成績

(1) 2008年3月中間期連結業績 2

(2) 2008年3月中間期の主なトピックスと連結業績の見通し 10

2. 参考資料 15

1. 経営成績

(1) 2008年3月期中間決算の連結業績

中間決算の概況

当社グループの当中間連結会計年度における業績は、営業収益は913億円、営業利益は22億円、経常利益は22億円、当期利益は25億円となりました。

(1) 高速道路事業

高速道路事業においては、景気回復の動きがある一方、交通量は、一日当たり91.1万台（前年度同時期比0.7%減）にとどまりました。また、ETC利用率は中間期末において70.9%となり、前年同時期に比べ6.9ポイント増となりました。この結果、高速道路事業の営業収益は906億円となりました。

(2) 受託事業

受託事業においては、国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設・改築等の事業を受託しました。なお、当中間連結会計年度においては完成工事がなかったため、受託事業の営業収益はありません。

(3) その他の事業

その他の事業においては、休憩所事業、駐車場事業、不動産賃貸事業、土木コンサルティング事業等を展開してまいりました。この結果、その他の事業の営業収益は7億円となりました。

事業の内容

高速道路事業

高速道路の新設、改築、修繕、災害復旧、その他の管理等

油小路線(鴨川交差部付近)



受託事業

国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等及びその他委託に基づく事業等

尼崎末広ランプ(5号湾岸線)



その他の事業

休憩施設の運営、駐車場施設の運営、不動産賃貸等

京橋PA(3号神戸線)





連結決算の概要

単位：億円（単位未満切捨て）

経営成績		
区分	2006.9	2007.9
営業収益	914	913
営業利益	28	22
経常利益	29	22
中間純利益	20	25

財政状態	
区分	2007.9
総資産	2,287
負債	2,032
株主資本	254
資本金	100
資本剰余金	100
利益剰余金	54



連結損益計算書(セグメント別)の概要

単位: 億円(単位未満切捨て)

高速道路事業	営業収益	営業利益
高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	(料金収入) 900億円 (構成比 98.5%)	19億円 (構成比 89.0%)
	(道路資産完成高) 1億円 (構成比 0.2%)	
	(その他) 4億円 (構成比 0.5%)	
受託事業	営業収益	営業利益
国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持修繕等及びその他の委託に基づく事業等	- 億円 (構成比 - %)	0億円 (構成比 1.2 %)
その他の事業	営業収益	営業利益
駐車場施設の運営 休憩施設の運営 不動産賃貸等	7億円 (構成比 0.8%)	2億円 (構成比 12.2%)

連結貸借対照表の概要

単位: 億円 (単位未満切捨て)

【主な増減内容】

資産の部			
科目	2007.3	2007.9	増減
・流動資産	1,825	1,810	15
・固定資産	496	477	19
・繰延資産	-	-	-
資産合計	2,322	2,287	34

流動資産

仕掛道路資産	+ 148
現金及び預金	- 127
未収入金	- 37

固定資産

有形固定資産(減価償却)	- 19
--------------	------

負債・純資産の部			
科目	2007.3	2007.9	増減
・流動負債	557	475	82
・固定負債	1,535	1,557	21
負債合計	2,093	2,032	60
・株主資本	228	254	26
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	28	54	25
・少数株主持分	-	-	-
純資産合計	228	254	25
負債・純資産合計	2,322	2,287	34

流動負債

未払金	- 159
1年以内長期借入金	+ 72

固定負債

道路建設関係長期借入金	+ 35
その他の長期借入金	- 13

利益剰余金

当期純利益	+ 25
-------	------

連結キャッシュ・フローの概要

単位: 億円 (単位未満切捨て)

区分	2006.9	2007.9
営業活動によるCF	154	211
投資活動によるCF	39	11
財務活動によるCF	114	95
現金および現金同等物の 連結中間期末残高	272	211

高速道路会社のCF計算書

高速道路への建設投資は、高速道路会社にとって独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する「商品」のため、投資額は『営業活動CF』のマイナスに整理し、これに見合う資金は借入調達するため『財務活動CF』のプラスとなります。

高速道路が開通し機構に引き渡す時に、道路資産完成高が『営業活動CF』のプラス、借入金の引渡額が『財務活動CF』のマイナスとなります。

従って、高速道路への投資額が完成高を上回る2008年3月期中間決算の『営業活動CF』はマイナスとなります。



単体決算の概要

単位：億円(単位未満切捨て)

経営成績		
区分	2006.9	2007.9
営業収益	911	907
営業利益	24	19
経常利益	24	19
中間純利益	16	23

財政状態			
区分	2007.3	2007.9	増減
総資産	2,306	2,264	41
純資産	224	247	23
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	24	47	23
有利子負債	1,050	1,036	13
自己資本比率	9.7%	11.0%	1.3%

1. 経営成績

(2) 2008年3月期中間決算の主な
トピックスと連結業績の見通し

8号京都線の供用

8号京都線が、平成20年1月19日に開通(第二京阪～上鳥羽)。山科～鴨川東も、同年5月の開通予定。

大阪地区では、都市再生環状道路を形成する大和川線、淀川左岸線および守口ジャンクションと松原ジャンクションを事業中。

神戸地区では、神戸山手線を神戸線に接続する事業を推進中。



京都駅を中心とした15分到達圏域及び30分到達圏域のいずれも約1.5倍に。

第二京阪道路と直結することで、京滋バイパスや第二外環状道路さらには第二名神高速道路などの広域幹線道路とネットワークを形成するため、近畿をはじめ日本全国とつながることになります。



「先進の道路サービスへ」～ 3年目の取り組み～

阪神高速は、安全・安心・快適なネットワークを通じてお客さまの満足を実現し、関西のくらしや経済の発展に貢献するため、新たな取り組みも加えて引き続きチャレンジしています。

1. 渋滞対策アクションプログラム(継続)

主要渋滞ごとに原因分析し、交通運用や街路交差点改良など可能な対策を順次実施中。出口交差点の信号調整により渋滞が軽減。

2. 交通安全対策アクションプログラム(新規)

事故の多いカーブ、分合流、落下物事故などの対策を強化。平成22年度までに、**交通事故を1,000件(平成17年度比13%)削減**。

3. お客さま窓口の営業拡大と情報提供サイト運営(新規)

阪神高速お客さまセンター(民営化後サービス開始)は、本年8月から、年中無休の営業とし、平日時間も拡大。

また、阪神高速の交通情報を**24時間無料**で確認できる携帯電話向け情報提供サイトを(財)阪神高速道路管理技術センターで運営。

4. 不正通行監視システム(新規)

不正利用からお客さまの信頼を守り、過積載車両による振動等から沿道の皆さまと道路構造物を守るため、監視カメラなどを高度化し、法令に基づき**厳正に対応**。本年4～6月の件数は、**前年比約25%減**。

5. 環境と景観への取り組み(継続・新規)

当社の環境保全に関する考えや取組を「**環境レポート2007**」にまとめご説明。また、道路景観の創造に努め、よりよい景観づくりを推進。

6. コスト削減の取り組み(継続)

契約方式の見直しのほか、建設においては、線形見直しによるコンパクト化、工法の見直し、管理においては清掃や巡回頻度および料金收受業務の効率化などによりコスト削減を推進。

お客さまセンターの営業時間の拡大

民営化(H17.10月)～H19.7月まで	H19.8月～
月曜～金曜 9:15～17:30	月曜～金曜 8:30～19:00
土日祝日 営業なし	土日祝日 9:00～18:00



携帯電話向け情報提供サイト「はしれGo!」

マイルート情報
ご通勤やお仕事でいつもご利用になる阪神高速を最大5ルートまで登録できます。出発前などのご指定時刻に、所要時間、道路状況、お気をメールでお知らせします。急なお出かけでも、最新の情報を即座にメールでお知らせすることが可能です。

リアルタイム情報
マイルート以外でも、出入口を指定してインターネット上で、所要時間順に交通情報を確認できます。

5分ごとに更新される最新の渋滞、事故、入口閉鎖などの交通情報を地図上で確認できます。

出入口を指定するだけで、各種割引を適用したETCの通行料金を検索できます。

阪神高速渋滞地区 ETC ETC料金検索

「環境レポート2007」





2008年3月期の連結業績の見通し

連結業績の見通し

税引後当期純利益は、単体の利益13億円に連結子会社3社の利益等4億円を加えた18億円(対前年度1億円増、対計画13億円増)となる見通し。

単位：億円(単位未満切捨て)

区分	2007.3 実績	2008.3 計画	2008.3 見通し
営業収益	1,885	2,213	2,165
料金収入等	1,829	1,884	1,827
道路資産完成高	35	285	291
その他	19	42	46
営業利益	21	13	15
経常利益	22	7	14
当期純利益	17	4	18

2008年3月期の見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。



2008年3月期の単体業績の見通し

単体業績の見通し

営業収益は2,149億円(対前年度272億円増、対計画51億円減)、営業利益は8億円(対前年度5億円減、対計画同額)、経常利益は7億円(対前年度7億円減、対計画5億円増)、当期純利益は13億円(対前年度1億円増、対計画12億円増)となる見通し。

➢ 高速道路事業の営業収益は、平日時間帯割引の継続や交通量が予測を下回っていること等により計画を下回る2,119億円(うち料金収入等1,827億円)となる見込みですが、営業利益は管理費用の減により計画と同額の6億円を見込んでいます。

➢ 関連事業は、営業収益及び営業利益はともに計画と同額を見込んでいます。

単位: 億円(単位未満切捨て)

区分	2007.3 実績	2008.3 計画	2008.3 見通し
営業収益	1,877	2,200	2,149
高速道路事業	1,865	2,170	2,119
料金収入等	1,829	1,884	1,827
道路資産完成高	35	285	291
関連事業	11	30	30
営業利益	13	8	8
高速道路事業	11	6	6
関連事業	2	1	1
経常利益	14	1	7
当期純利益	12	1	13

2008年3月期の見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

2. 参考資料

阪神高速グループの概要



2007.3.31時点	連結子会社 2社	阪神高速技術(株) 阪神高速サービス(株)
2007.9.30時点	連結子会社 3社	阪神高速技術(株) 阪神高速パトロール(株) 阪神高速サービス(株)

当社の非連結子会社である(株)高速道路開発、(株)サナウイン、(株)コーベックス、(株)エイチエイチエス及び(株)ベイフレンドへ委託している料金收受業務を当社が12月設立の子会社(大阪地区・神戸地区各1社づつ)に事業譲渡すべく手続きをすすめております(平成20年4月1日予定)。



関係会社の状況

連結子会社 2007年9月30日現在

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 (%)	関係内容
阪神高速サービス(株)	大阪市西区	40	その他の事業	100	休憩所施設に係る業務を委託、駐車場施設を賃貸 設備の賃貸借 役員の兼任等
阪神高速技術(株)	大阪市中央区	20	高速道路事業	100	保全点検・維持修繕業務を委託 役員の兼任等
阪神高速パトロール(株)	大阪市西区	10	高速道路事業	100	交通管理業務を委託 役員の兼任等

(注) 主要な事業の内容欄には、事業の種類別セグメントの名称を記載しております。

本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

お問い合わせは・・・

阪神高速道路株式会社 経理部財務グループ（田代）

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町4丁目1番3号

telephone: 06-6252-8121(代)

facsimile: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>